

総務委員会

委員長 五間くみ子
副委員長 石川克正
委員 井田敏男、仲田均、田嶋俊雄、今井藤男、須藤新井邦清

火災予防条例の一部改正する条例

この条例改正の詳細は。

問 大きく分けて3点ある。一点目は、燃料電池発電設備（通称・エネファーム）の定義の中に個体酸化物型燃料電池を加えたもの。二点目は、建築基準法施行令の改正により、避難階の定義の変更。三点目は、特定共同住宅の住宅部分に消防用設備を設置した場合や、複合型住宅施設において自動火災警報器を設置した場合、住宅用火災警報器を免除できることである。

問 エネファームや避難階の規制緩和について、深谷管内の実績は。

答 深谷管内での実績はない。

問 一般会計補正予算（第三号）

答 地方交付税が今回の補正額と合わせて総額約72万9千円であるが、この仕組みを聞きたい。

問 平成21年度決算における法人市民税の落ち込みにより、基準財政収入額が下がった結果、今回の確定値になったと想定している。

問 減債基金積立金は、今回の補正額と合わせ総額5億6千万円は

どである。まちづくり振興基金の関係で、財政健全化計画の償還を今年度間に合わせるために見込まれる計画なのか。

答 今回の減債基金積立金は、まちづくり振興基金のため、今年度借り入れる合併特例債について、来年度一括償還を視野に入れた積立金である。

問 まちづくり振興基金という新しい基金ができたが、今回一般会計から減債基金を積み立てたことにより、基金が実質目減りしたのではないか。

答 まちづくり振興基金は、今後税収の落ち込みが見込まれる中、合併特例債の交付税算入を有効活用していくことで目減りしたとの解釈ではない。



袋井市行政視察

福祉文教委員会

委員長 寿子
副委員長 博之
委員 睦江、水藤、清加、新井、吉田、松本、中村、利慎、幸太郎、田島、吉義、和政

ひとり親家庭等医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

問 ひとり親家庭等医療費支給事業の対象家庭において、父が単身赴任で、祖父母がその子供を養育している場合の取り扱いはどうなるのか。

答 子供と同居し、これを監護し、かつその生計を維持するものが、養育者としてひとり親家庭等医療費の支給対象となる。生計を維持するための資金は、養育者である父親からの仕送りであるため、祖父母がこの事業の対象者となる。

一般会計補正予算（第三号）

障害者施設助成事業の昨年の実績を聞きたい。

答 10施設から申請があり、7施設に対して助成を行った。申請書の内容から緊急性、必要性等を考慮して優先順位で採択している。残りの3施設は、補助対象となら

なかった。

問 児童扶養手当の申請状況は。

答 8月25日現在、20名から申請があった。

問 児童扶養手当の算出方法は。

答 ひとり親家庭等医療費支給事業対象者から勘案し、20名の父子家庭から申請があると見込んだ。

問 生活保護総務費の臨時雇用の採用人数、採用時期、職種は。

答 採用人数は1名で、採用時期は7月1日。職種は、生活保護全般の一般事務を行っている。



奥出雲町行政視察

市民環境産業委員会

委員長 江原久美子
副委員長 加藤温子
委員 田部恒明、森原秀夫、小栗多村、宇野春彦、飯吉野信

一般会計補正予算（第三号）

道の駅管理事業について補償金の内訳は。

答 道の駅おかべ駐車場拡張のため、用地上にあるビニールハウスの作業物の補償料である。

問 なぜこれほどの額かかるのか。

答 物件補償については、測量士が調査・積算した額になっている。ハウスや作業物も充実し、事務所や倉庫もある。

問 駐車場の増設することで、今後利用者は増えるのか。

答 現在の駐車場台数は小型車両100台、大型車両が9台であるが、平日は大型車両が最高230%、休日は小型車両が150%以上利用され、大変混雑している。そのため駐車場拡張を計画している。

問 一般廃棄物収集業者選定には、一定期間の業務経験が必要か。

答 経験の有無ではなく、条例規定に基づくごみ収集の許可を取得していることで、業務を十分遂行できる能力があると考えている。

問 自治会活動振興事業について、県からの補助はないのか。

答 県補助制度では、1自治会で1カ所と要綱で決まっている。昭和52年に300万円の補助を既に県から受けているため、今回は一般財源での対応となる。

問 埼玉県ふるさと雇用再生基金市町村事業補助金の内容は。

答 生活保護実施円滑化事業で、ケースワーカーを補助する諸事務として1名雇用する。

問 今年度の全体の雇用状況はどうなっているのか。

答 今年度雇用実績は、当初で48名、6月補正で18名である。県では随時募集しているが、現在申請中の案件はない。



長野市行政視察

建設委員会

委員長 健一
副委員長 小川真一郎
委員 重雄、崎田、柴富、倉上、今橋、永勝、朗治、世彦

一般会計補正予算（第三号）

質疑なし

水道事業会計補正予算（第一号）

質疑なし



行政視察報告

議会だより編集委員会は、より見やすい議会だよりにしていくため、全国町村議長会が開催している「議会広報全国コンクール」で何度も賞を受賞されている、新潟県聖籠町議会及び群馬県昭和村議事を視察しました。その概要について報告します。

●聖籠町議会だより

紙面内で使われる写真は、人物が写った、動きのある写真となっていました。記事については「余白も記事のうち」という方針で、紙面にゆとり感がありました。また、「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」などで、町民を参加させる

紙面づくりをされていました。

記事については「追跡シリーズ」として、請願や陳情の議会採択後の処理経過を載せたり、「聞きたい、知りたいみんなの声」「地域でがんばる人」などのシリーズで、地域の役員や町民を紙面に参加させたりしていました。また、料理のレシピを掲載し、読者の目を引く紙面づくりをされていました。



昭和村役場

「議会だより」はホームページでも見られます...市のホームページを開き、「深谷市議会」の「市議会だより」PDF版の順にクリックしてください。創刊号から今号までご覧いただけます。<